

【事業名】愛媛県希少植物群落等保全事業

（愛媛県） 【団体名】愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会

令和6年度 生物多様性
保全推進支援事業
実績報告書別紙10-6

事業の背景・目的

近年、ニホンジカによる食害は県内各地で顕在化しており、県内全域での希少植物群落等の保全に向けた取組みが急務となっている。希少植物群落等の持続可能な保全対策を効果的に実施し、健全な生態系を確保するとともに、ネイチャーポジティブ経済の実現を目指すため、保全計画の策定をはじめ、食害を認識できる人材の育成、協議会構成員が実施する自走化に向けた事業等への支援、県民への積極的な普及啓発等を行う。

事業の内容

【植生被害調査事業】

- ・保全すべき希少植物リストの作成
- ・ニホンジカによる食害や分布状況の把握



【人材育成事業】

- ・GISアプリを用いたモニタリング手法を確立
- ・ニホンジカ被害を認識、記録できる人材の育成



【自走化支援事業】

- ・わなオーナー制度やエコツアー等、構成員の活動を自走化に向け支援



【普及啓発事業】

- ・活動報告会や出前講座の開催
- ・普及啓発用パネルの作成、展示等



【保全計画推進事業】

- ・保全計画案（5ヵ年）の作成
- ・防鹿ネットの設置



得られた成果

- ・希少植物リストの植物の生息場所を文献等から選定し、複数地点で現地調査を行い、シカの生息状況や食害レベルを把握。特に保全優先度の高い67群生地については、令和11年度までに計画的に現地調査を行い、保護処置の必要等を検討する。
- ・GISアプリを用いたニホンジカ被害モニタリングでは、協議会会員やモニタリング勉強会に参加した登山者等から令和6年4月から令和7年2月の間に、399事例の情報提供があり、アプリを通じて被害状況をリアルタイムで共有。
- ・絶滅危惧種保全のため県立自然公園内に防鹿ネット4基を新たに設置（うち2基は企業協賛によるもの）。防鹿ネットの効果検証のため、設置か所内の植生モニタリングを継続的に行う。
- ・わなオーナー制度、エコツアーはともに参加目標数を概ね達成。県民が身近なところから保全活動に参加し、また、環境保全意識の高揚に貢献することができた。



※GISアプリを用いた被害モニタリング報告結果